

もみじ



県立広島病院 〒734-8530 広島市南区宇品神田1丁目5番54号

※県立広島病院の様々な情報をホームページへ掲載しています。
県立広島病院で検索 (URL: <http://www.hph.pref.hiroshima.jp/>)



理念：県民の皆様に愛され信頼される病院をめざします

連携医院のご紹介

今回は安芸郡坂町にある小坂内科医院の竹内 啓祐院長 にお話を伺いました。



竹内院長

小坂内科医院

〒731-4312
安芸郡坂町平成ヶ浜 1-8-42
電話 / 082-885-0108
院長 / 竹内 啓祐
診療科目 / 内科・小児科・
リハビリテーション科



○いつ開業されましたか。

前院長とは県立広島病院勤務時代の同僚だったこともあり、2017年4月に継承しました。今まで様々な医療形態で勤務してきて、最後の医師人生を考えた時、とてもやりがいを感じていたのは診療所にいた時かなと思い、継承を決意しました。

○力を入れている事などを教えてください。

総合診療が専門であり、ありとあらゆる健康問題の相談に応じるよう努力しています。またこれまで、地域包括ケアの旗振り役として活動していたこともあり、在宅医療の充実に貢献したいと考えていますが、1人診療ですので24時間365日ということがいかに大変なことなのか、実際に行ってみて感じています。地域単位でグループ診療を整えていく必要があると感じています。

○毎日の診察で大切にしている事はありますか？

患者さんの話をよく聞くことを心がけています。患者さんは何をしたいと思っているのか、病気についてどう考えているのか、医療者に何をしてほしいのか、病気になってどう感じているのか、生活にどんな影響があるのかなど、医療者と考えが食い違っ

ていることが多々あります。しっかり話を聞くことで食い違いがなくなり、患者さんの満足のいく医療が提供できます。また難しいことを話すだけでなく、患者さんのやりたいことを支持していくことが重要だと考えています。

○県病院はどんなところですか。

県病院での研修期間を経て、以後広島県職員として県病院の中での勤務と中山間地域医療に従事してきました。県病院では桑原先生をはじめ多くの先生にお世話になり、自分の中では“心の医局”と思っています。よく存じ上げている先生も多く、イザという時は県病院にお願いさせていただいています。

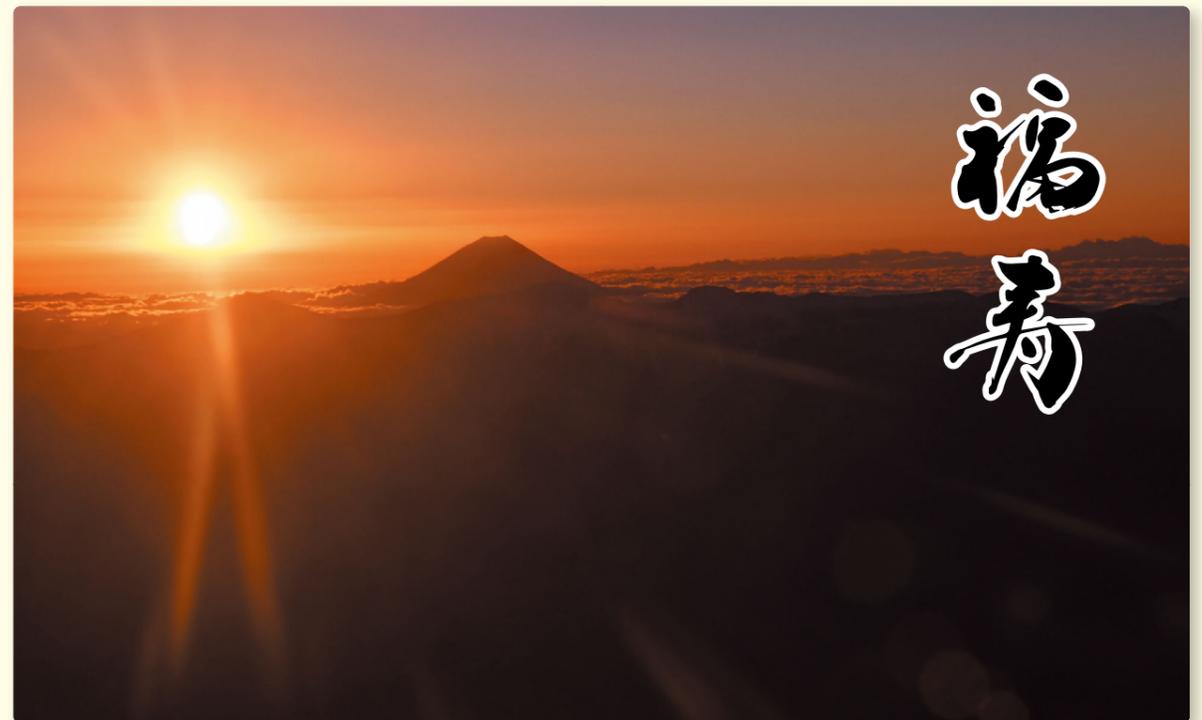


小坂内科医院外観

診察台

【取材後記】

先生の話し方がとても柔らかくて、何でも相談できる雰囲気でした。また、とても広い処置室・理学療法室があり、圧迫感なくリラックスして処置などを受けられる素敵な医院でした。



福寿

新春を迎え

謹んでお慶びを

申し上げます



今年も十二支で丑の年です。干支では辛丑(かのとうし)です。辛と丑の組み合わせは「相生(そうせい)」という関係で、相手を強める影響をもたらす意味があります。植物に例えると、辛丑は変化が生まれる状態、あるいは新たな生命が萌し始める状態なので、今年も全く新しいことにチャレンジするのに適している年かもしれません。

昨年は新型コロナウイルス感染症に、世界中が大きく振り回された一年でした。今年も影響が続くことが予想されますが、牛のように先を急がず「県民の皆様が愛され信頼される病院」を実現するために、一步一步着実に物事を進めていきたいと思っています。

皆様にとって、本年がよりいっそう充実した年となりまことを祈念しております。



令和三年 元旦

県立広島病院 院長

平川 勝洋

県立広島病院からのお知らせ

1月のがんサロン

- 開催日** 令和3年 1月13日(水)
- 時間** 14:00~15:30
- 参加方法** オンライン形式と参加形式
※新型コロナウイルスの感染状況によりオンライン開催のみになる場合があります。(当院HPでお知らせいたします)
- テーマ** がん専門医が話すがん患者の悩み～主治医との上手な付き合い方～正しい情報で患者力UP!
- 講師** がん専門医よろず相談所/児玉 哲郎 医師
がんピアサポーター/清水 聖子 さん
- 対象** 悪性腫瘍(がん)の患者さん及びそのご家族
当院での受診歴は問いません
- 問合せ先** がん相談支援センター
☎082-256-3561 (担当/定元)

外来診察室について

1月より診療科の診察室及び受付の場所が変わりました。皆様には大変ご迷惑をおかけいたしますが、よろしく願いいたします。



— 守護霊さん —

最近、わが家では、ご先祖様の守護霊の話題で盛り上がります。盛り上がるといっても妻が一生懸命話しているのを傍で私は、「ふんふん」と聞いているだけで、時々「人の話を聞いている？」と突っ込まれ「聞いとるわい」と小さな声で反発する、の繰り返しです。私も、神や霊の存在を全く否定するわけではありませんが、いつも同じ話を聞かされる私には守護霊がついていないのかと不満に思うわけです。

いつも出てくるエピソードは2つです。一つは、知り合いの方の息子さん(2歳が3歳の時の話)です。息子さんとお母さんが二人で歩いていると突然、息子さんが車道に向かって走り出したそうです。お母さんは、4~5m先を走る息子さんを慌てて追いかけてやりましたが体が動かず、迫りくる車に、もうダメだと目をつむってしまったそうです。そして、おそるおそる目を開けたところ、なんと息子さんは、お母さんの足元に戻ってきて泣いていたのです。この事象を超力学的に言うと、息子さんがワープ、あるいは瞬間移動(テレポーション)した、ということになりますが、お母さんは、ご先祖様の守護霊が息子を守ってくれたと感謝し、それ以降実家に帰省された際には欠かさず、ご先祖様の墓参りをされているそうです。

二つめは、やはり知人の奥さんと息子さんの話です。1歳の息子さんを抱えてタクシーに乗ったそうです。乗車してすぐ運転が少し荒いなど不安だったそうです。後部座席の左のドアに寄りかかって、ポケットの中の物を探そうとした瞬間、左側から後部座席に向かって車が突っ込んできたそうです。タクシーの左側後部のドアはひどく変形し、激しい衝撃だったことを実証していましたが、息子さんは奇跡的に無傷でした。ただ、お母さんは、むち打ちで苦しむことになったそうです。この体験に

ついてわが家では、ご先祖様の守護霊が、息子さんを守ってくれたのではないかと結論に達しています。

しかし、守護霊さんも時々イタズラをされるようです。その息さんが大学に入学されて、一人暮らしがスタートした時の奇妙な体験です。マンションでお風呂を沸かして入っている時に、湯船のお湯がどんどん熱くなっていくことに気づき、ふとパネルを見るとお湯の設定温度が一度ずつ上がっていくのを見たそうです。もちろん、本人が設定温度を変えているわけではありません。そして、風呂を出たところの廊下の壁に設置してあるパネルからしか温度設定を行えません。彼は恐ろしく風呂を出てあたりを見回しましたが、もちろん誰もいません。この奇妙な体験から数日後、彼はトイレに行きドアを開けようとしたが、中からカギがかかってドアが開かなかったそうです。もちろん、部屋の中には彼しかいません。トイレの中には電気がついており、思わずノックをしたそうですが、返事はありません。当たり前です。カギロックを無理やりこじ開けてドアを開けましたが、中には誰もいなかったそうです。彼は、守護霊さんがイタズラをしていると思い、神社でお祓いしてもらったそうです。それ以後、イタズラをされなくなったそうです。

先日、妻とまた守護霊の話になった時です。「確かに守護霊はいると思うけど、俺は全く守られている実感がなく、奇妙な体験もしたことがない」と言うと、妻から返ってきた言葉は「あなたは人の話を聞かないから、守護霊さんが取り付く島もないよ」でした。このコロナ禍、人の話をちゃんと聞きますから、早く終息しますようにとご先祖様の守護霊さんにお参りしてきます。

副院長(消化器センター長)板本 敏行



画面に向かい説明する尾崎部長

オンラインがんサロン

がんという病気をもちながらの生活は、さまざまな不安がついてまわります。当院のがんサロンは、みなさんの「集いの場」「支えあいの場」として開催しております。

新型コロナウイルス感染症の影響により2020年3月から開催が中止となり、半年が過ぎた頃、これまで参加して下さっていた皆さんから「サロンはまだできませんか?」「オンラインではできませんか?」という声をいただきました。そのような声にお応えできないかと思い、今年度は新しい「支えあいの場」としてオンラインでのサロンを行うことになりました。

記念すべき第1回は、広島県がんピアサポーターのみなさんのご協力もいただき、8月26日に開催いたしました。乳腺外科部長の尾崎慎治医師が『乳がんと遺伝のはなし』をテーマにミニレクチャーを行い、そのあと参加されたみなさんより質問を受けるという講義形式でした。

参加者アンケートでは、「遺伝子のお話は初めて聞いたのですが、とても勉強になりました。オンラインで先生のお話が聞けるのは、とても素晴らしいことだと思います」「コロナの終息がなかなか見えないので、色々オンライン開催が始まっていますね。たくさんの方が参加できるように願っています」という感想をいただきました。

オンライン形式では、講義の質問以外にざっくばらんな話をする、気軽に話す、ということがなかなかできない印象があります。その点についてこれから改善を重ねて、体験者の方やそのご家族の不安が少しでも和らぐ場になればと思っています。「オンラインは少しハードルが高いな」と感じてしまうかもしれませんが、練習会も準備していますので、どうぞご活用ください。みなさんのご参加をスタッフ一同お待ちしております。



オンライン現場風景

参加方法

- 1 専用メールアドレスに下記必要事項を入力し、送信します。
メールに記載する内容
・氏名
・電話番号
・招待受取用のメールアドレス
- 2 招待メールが届きます。
※受信後にオンライン専用アプリをダウンロード
返信に含まれている内容
・ミーティング番号
・ミーティングPW
・WebEx (オンライン専用アプリ) 利用方法
- 3 当日、指定の時間になりましたら「ミーティングに参加する」をクリックし、メールにあるミーティング番号、PWを入力後、ご参加ください。
! オンライン開催前には練習会もあります。※別途申込要

申込専用メールアドレス hphchiikirenkei@pref.hiroshima.lg.jp

- スマートフォンからの参加も可能ですが、通信が不安定であり資料等見えなくなることがあります。あらかじめ「CiscoWebExMeeting」をダウンロードしてからお申し込み下さい。
- パソコンからの参加の場合は、申込後に「CiscoWebExMeeting」の利用方法を送信いたします。
- データ通信費は各自のご負担となりますので、ご了承ください。

脳心臓血管カンファレンス

脳心臓血管センター長 / 上田 浩徳

自己免疫性自立神経障害について

【脳神経内科 / 田金 裕一郎】

症例 68歳男性。主訴はふらつきと起立時の血圧低下。若い頃から血圧は低めであったが、立ちくらみや発汗障害はなかった。10年前から起立性低血圧のような症状が出現。その後、性腺機能障害、発汗低下や乾燥肌を自覚するようになった。3年前前から立ち続けると強い疲労感を自覚し、便秘が出現。今回、起立性低血圧精査加療目的で紹介となった。初診時、臥位から立位で収縮期血圧が50 mmHg 低下及び脈拍が40/分上昇を認めた。その後の血液検査で抗自律神経節アセチルコリン受容体αサブユニット(ganglionic acetylcholine receptor; gAChR)抗体陽性が判明し、自己免疫性自立神経障害(autoimmune autonomic ganglionopathy; AAG)と診断し、ステロイド治療を開始した。

抗gAChR抗体は1998年Mayo ClinicのVerninoらのグループによって発見され、特発性自律神経ニューロパチ患者の約半数で検出されることが2000年に報告されています。AAGは免疫異常が介在することにより広範な自律神経症状を呈する後天性疾患であり、抗gAChR抗体が病原性自己抗体として作用する慢性神経免疫疾患である可能性が高いとされる比較的新しい疾患概念です。その臨床経過は急性・亜急性から慢性まで幅広く、症状として起立不耐(約90%)、起立性低血圧(約80%)、下部消化器症状(主に便秘; 約70%)、排尿障害(約60%)が認められます。治療に関しては今のところエビデンスのある臨床試験は存在しませんが、免疫治療として最初に免疫グロブリン大量療法、単純血漿交換やステロイドパルス治療が行われています。その後の維持療法として経口プレドニゾロンや免疫抑制剤の有効性が報告されており、難治例にはリツキマブの効果も報告されています。また、対症療法としてピリドスチグミンの唾液分泌や腸管運動への効果が報告されています。

しまじろうが入院中の子供たちにオンライン訪問!!

12月11日(金)にソニー生命とこどもちゃれんじが共催する「しまじろうと一緒に笑おう!<キャラバン>」の一環として、しまじろうとお姉さんが入院中の子供たちのために訪問してくれました。

今回はコロナ禍の中とあってオンラインでの訪問でしたが、子供たちは画面のしまじろうとお姉さんにあわせて歌や踊りを一緒に楽しみました。



▲プレイルームで視聴
▼画面でご挨拶
記念写真に大喜び!